

北海道交通政策総合指針重点戦略【素案】に対する パブリックコメント等による意見募集の結果について

1 意見募集の内容

(1) パブリックコメント (R2. 12. 18～R3. 1. 18)

北海道交通政策総合指針重点戦略の策定にあたり、道民等の多様な意見を反映させるため、意見募集を行った。

道のホームページによる告知、本庁及び（総合）振興局の行政情報コーナーにおける関連資料の閲覧等を実施。

(2) 市町村及び関係団体等への意見照会 (R2. 12. 16～R3. 1. 12)

道内179市町村及び国の機関や運輸事業者、経済団体等に対し、意見照会を行った。

2 意見募集の結果

区 分		交通政策指針重点戦略【素案】
意見数	パブコメ	21件（2名）
	意見照会	37件（5市町・6団体）
	合 計	58件

3 主な意見

（パブリックコメント）

- 運輸連合については、絵に描いた餅にならないようにすべき。
- 地域公共交通計画をただ策定すればよいのではなく、住民・利用者目線の確保が必要。
- 災害時にも安心できる信頼性の高い交通の実現に向けては、利用者本位で進めていくべき。

（関係団体・市町村）

- 新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底した上で、地域において公共交通を担う交通事業者が存続していくための取組をしっかりと発信することが重要。
- 北海道全域で地域公共交通計画が策定されるよう、全ての輸送資源に関わる運行主体の積極的な参加を促す方策を検討いただきたい。
- 観光エリアからSNSで観光地の情報を発信したり、移動中に次の観光地を調べたりすることもあるので、移動中の環境整備は重要。北海道全体として観光地やJR、バスのWi-Fi設置を支援し、外国人観光客の満足度を向上させるべき。
- 鉄スクラップについても輸出拡大に向けた取組を行っているため、主な取組に追加してはいかがか。
- 多様な交通機関による代替性の確保が必要。ブラックアウトや停電を想定した対策がないので、電気がない状態での対策を追加してはいかがか。
- 取組指標にSDGsを掲げているのであれば、関連計画として記載が必要。

4 今後の予定

道議会や運輸交通審議会、交通・物流連携会議における議論を踏まえ、年度内に次期重点戦略を作成する。